

甲南中学・高校
図書館
図書委員会
芦屋市山手町
31番3号

読書三昧

第89号
平成29年2月14日
高二 水野 禎基
高一 中川 多聞
高一 三木康太郎

さわって学ぶ本の世界 文化祭の報告

今年度の文化祭では、初版復刻本を含む古書二六作品とその解説を展示し、和綴じ本の製作体験を行うコーナーを設けました。また来場された方へ折り紙で作ったブックマークを配布しました。

一日目の来場者数は五〇名、二日目の来場者数は九六名でした。事前に図書委員で手分けして、図書館の書庫で眠っている本を紹介した説明文を作成しました。また和綴じ本作り体験コーナーを設け、二種類の和綴じ本を作るようにしましたが、このコーナーの準備として、図書委員同士で和綴じ本の作り方講習を行い、作り方を覚ええました。担当したメンバーは、誰も和装本を作った経験がありませんでしたが、来場していただいた方々に無事に作っていただくことができました。完成した和綴じ本には図書委員会特製の消しゴムはんこを押してお渡ししました。

これらの準備の様子や当日の運営について、図書委員からご報告します。



▼初版復刻本の展示と解説

高二 水野 禎基

僕は、展示を行った初版復刻本の解説文の作成と和装本製作の説明を担当しました。意外にも和装本の作り方を覚えるのに一苦労しました。初めて作ったときはうまくいきませんでした。が、何とか当日までには作れるようになり、ほっとし

たことを覚えていきます。しかし自分が作れることと人に教えることは同義ではありません。一日目に真っ先に来てくれた友人たちに対しては、完成してもらおうとだけで精一杯の説明しかできず、完成品は少々歪（いびつ）なものになってしまいました。しかし友人たちの協力もあり失敗はそれきりで、それ以降は無事作っていただくことができました。

▼和綴じ本制作体験コーナー



高二 岩田 和也

今回の展示における計画や準備、シフトの作成などを通して今まで経験したことのない多くの事を学ぶことが出来ました。最初はひとりりで計画を作り実行しようとしたところ、トラブルを起こしてしまいました。先生方に自分一人

▼文化祭で展示した作品

作品名	著者
浮雲	二葉亭 四迷
みだれ髪	牛梨野 晶子
こゝろ	夏目 漱石
草壁抄	谷崎 潤一郎
注文の多い料理店	宮沢 賢治
伊豆の踊子	川端 康成
野菊の墓	伊藤 左千夫
雪国	川端 康成
春と修羅	宮沢 賢治
どんたく	竹久 夢二
おもひで	北原 白秋
若菜集	島崎 藤村
安愚楽編	堀名垣 魯文
牡丹燈籠	三遊亭 圓朝

作品名	著者
小説真経	坪内 逍遙
高野聖	泉 鏡花
一握の砂	石川 啄木
風立ちぬ	橋 田寿賀子
銀の匙	中 野実
三四郎	夏目 漱石
在りし日の歌	中原 中也
放浪記	林 芙美子
即興詩人	森 鴎外
武蔵野	國木田 強歩
夜之光	志賀 直哉
こがね丸	巖谷 小波
夢喰う蟲	谷崎 潤一郎
余は如何にして 基督信徒となりし乎	内村 鑑三

でなんでもやらないようアドバイスをいただき、少しずつ委員とも意見を交え相談するようになりました。このことは、今の私の生活や交友関係にも大きな変化を与えてくれました。文化祭本番では大きなトラブルもなく、多くのお客様に満足して頂き、委員長として責任を果たすことができ、満足のいく結果を得られました。

灘甲戦読書会

六月十二日。灘と甲南で毎年行われている親睦試合、灘甲戦。今年度の灘甲戦は、灘校で行われました。当日の朝、空は厚い雲に覆われていましたが、幸いにも無事に開催されました。

両校の運動部が熱戦を繰り広げている間に、毎年、甲南図書委員と灘図書委員の交流を行っています。今年度は読書会を行いました。今回の課題本は、イギリスの作家オルダス・ハクスリーによる『すばらしい新世界』です。本書は、デイストピア小説(※注)の例として挙げられることも多い作品で、読書会での議論は非常に盛り上がりました。読書会の参加者は、甲南から四名、灘から八名、両校合わせて十二名です。六名ずつの二グループに分かれて、それぞれのグループで話し合いました。二つのグループでの話し合いは、キーワードや意見などを書記がホワイトボードにメモすることで共有しました。

読書会は一〇時から三時間行いました。三時間という時間をかけても、両校とも話したいことがたくさんありすぎて、時間が足りず不完全燃焼となったのが残念です。来年以降はもう少し議論を絞る必要があると感じました。

※注)デイストピアとは

アンチ・ユートピアとも呼ばれています。多くはユートピア理想郷の対となる世界観で描かれた作品です。しかし十六世紀以来ユートピア書き継がれてきたユートピア文学に登場する様々な理想郷の多くは、全体主義的、管理社会的でした。このため、現代の価値観でとらえればデイストピアそのものである作中の社会や制度もユートピアとして描かれていることがあります。そのせいか一見理にかなっている世界に見えても、か違和感を覚える事も多いです。今回の『すばらしい新世界』における社会などの法や体制は、人間の理性の限界に対する風刺とも言われています。

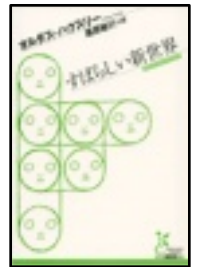
高三 岩田 和也

今回の読書会のお題『すばらしい新世界』は私の今までの人生観や、自分の未来についての想像に対して大きな衝撃を与えるものでした。未来についてのイメージはITやロボット工学の発展によって大きな戦争が

起り、映画『ターミネーター』のような荒廃した世界でした。それ以外にも国と国が争い核に手を出すか、人間の自らの自然に対する高慢な態度の代償として地球の環境が悪化しいずれにしても人類が死に絶えるなど、どちらかという悲観的な未来を想像していました。しかしこの本の語る未

来はどうでしょうか。たとえ人々がいがみ合わず、人口が安定し差別意識もなく食料も物資も足りる社会であつても、やはりこの本の語る未来には何か重大な欠陥があると思います。灘の方々ともこれを焦点に随分と話し合いましたが、結局欠陥をこれだと明言できませんでした。この本では、

西暦二五四〇年。人間の工場生産と条件付け教育、フリーセックスの奨励、快樂の配給によって、人類は不満と無縁の安定社会を築いていた。だが、時代の異端児たちと未開社会から来たジョンは、世界に疑問を抱き始め…
驚くべき洞察力で描かれた、デイストピア小説の決定版！(本書背表紙から引用)



『すばらしい新世界』

著者・オルダス・ハクスリー
出版社・光文社
(y/hak)

高一 水野 禎基

読書会への参加は今回が初めてだった為、参加するまではとても緊張していました。しかし実際に参加してみると考えていたようなものと違い、あつという間に二時間が過ぎていました。同じ本を読んだとしても何をどのよう感じるのかは異なります。その感じ取ったものの「違い」について話し合いました。もちろん違いだけでなく共感することも沢山ありました。「理解できない」ではなく「同じように感じました、でもここはこう感じた。」「そんな捉え方もあるんだな。僕はこうだと思いました。」といったような形で進行したので、話が自然に広がっ

ていき、話題をメモしていくためのホワイトボードが何度も埋まりました。同じ話題を共有し語り合った時間私はとても有意義なものでした。



▲今回参加した両校図書委員の集合写真

図書委員の選んだ本の紹介

店頭選書

十二月二〇日にジュンク堂三宮店センター街店で店頭選書を行い、約五十冊の本を購入しました。

この時選んだ本も、図書館に展示しているの借りることができます。

選んだ本の一部を紹介しています。気になった本がありましたら、ぜひ図書館まで借りに来てください。

『日本会議』

高三 朴 泰煌

新年を迎え、世界の指導者たちが次々と政権を交代する中、第三次安倍内閣は発足から三年目を迎えた。与党の議席数は過半数を超え、国民からの支持率はまずまずといったところ。憲法改正も容易な状況になり、安倍政権の暴走が止まる気配は見られない。

安倍総理が憲法改正に拘る理由はなんなのか。それを知るためには、安倍総理の背後に蠢く「日本会議」の実態と歴史を深く読み解かなければならない。

本書は「日本会議」の核心に迫るための必読書である。



著者：山崎雅弘
出版社：集英社
(361・6/Y)

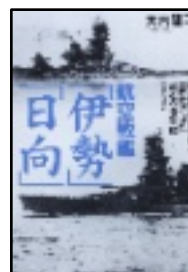
『航空戦艦「伊勢」 日向』

高一 三木康太郎

時は約七〇年前、第二次世界大戦下の日本帝国海軍は世界初にして唯一の「航空戦艦」を戦場へと送り出した。本書ではこの艦の開発経緯だけでなく、空母や航空巡洋艦にも言及し紹介する。

ミリタリー好きにはもちろん歴史を学ぶ方にもおすすめです。授業では扱わない情報ですが、このようなものと関連付けて学習していくと、覚えやすいかもしれません。

本校の図書館には往時の日本帝国海軍の軍艦を収めた写真集がありますが、一艦種に絞った本が無かったので入れていただきました。この写真集も併せて読むのはおすすめです。



著者：大内建二
出版社：潮書房光人社
(556・91/Oコ)

『怪談短歌入門』

高一 中川 多聞

店頭選書では「怪談短歌入門」や、浮世絵における悪役や悪女などを取り上げた「江戸の悪」を選びました。図書委員の人達はそれぞれ趣味や好みが違うので、様々な種類の本が選ばれ、非常に面白い店頭選書になりました。図書委員で興味のある方は、参加して損はないと思います。

インターネット上で募集された第一回と第二回ツイッター怪談短歌コンテスト応募作の入選作や、それに対する批評などが載っている本です。批評と言っても著者三人による対話形式のもので、専門用語に頭を抱えずに読み進めることができます。

怪談と短歌という言葉を開くと、なんとなく「幽霊や怪物がでてくるはなしを五七五七七で表現したもの」を想像しそうになります。勿論そういった短歌もあります。例をあげると『グロールのフォームを直してくれし手はまた水底へ消えて行きたり』などは収録されています。しかし、ホラーはもつと広いんだ、限られた字数でも語りや小説に劣らないものを生み出せるんだ。ということ、僕はこの本で感じました。例えば、『僕の名のすぐあとに君の名があつたんだ黄ばんだ貸出カードすべてに』この歌には怪物も幽霊も出てきません。しかし、「僕」が感じた「君」の異常な想いがゾツとする程サイコな魅力となつてこの短歌に表れています。怖い挿絵などは無いので、怖がりな方も読んでみてはいかがでしょうか。



著者：東直子、佐藤弓生
石川美南
出版社：
メディアファクトリー
(911・1/A)

2015古本市の売上げの活用状況について

購入月日	金額	冊数
2016.1.15	¥7,267	32
2016.2.16	¥17,556	38
2016.5.28	¥15,770	90
2016.9.14	¥216	2
2017.1.19	¥5,282	43
合計	¥46,091	205

購入した本は、すべて学年文庫に入っています

読書のきっかけ

生物科 平田 礼生 先生

それほど多くの読書もしていない私が、読書三昧の原稿を依頼され、さて何を書くべきか悶々と思ひ悩んでいるとき、ふと蘇った小学生時代のややブラックな記憶がある。

たしか小学3年生か4年生だった。週に一回、「図書」の時間が時間割に組み込まれていた。みんなで図書室へ行って、読みたい本を選んで借りるような授業を任じたての若い担任は、できるだけたくさん本を子どもたちに読んでもらいたくて、様々に知恵を絞ったことだろう。

ある日、教室に模造紙が張り出されていた。左の端には縦に児童氏名が書かれており、右に向かって数字の目盛りが入っている。これは、どれだけたくさん本を読んだかを競わせるためのもので、読書量を記録していくことで横向きの棒グラフを描き、誰が一番「頑張って」読書をしているかが一目にわかるものであった。横軸の単位は冊数では

なくページ数であった。

平田少年は、なぜかそのキャンペーンで好成绩を取りたいと思つたようである。ご褒美が与えられたり、表彰されたりするものではない。特に勝負事で勝ちたがるタイプでもない。読書が誰よりも好きで絶対に負けたくない。誤でもない。子どもたちの反応がイマイチだったので、先生を喜ばせたかった、といえれば聞かえがいい。当時の心理はよくわからない。

しかしながら困つたことに、平田君はあまり読書をする習慣がなかったし、好きでもなかった。そこでどうした手段は、できるだけ厚い本、つまりページの多い本を選ぶことであつた。まず手をつけたものは入り口付近に並べられていた「伝記シリーズ」だった。そこそこ厚いし賢そうである。できるだけ太い偉人を選んだ。エジソン、キュリー夫人、野口英世などを選んだ記憶はある。内容はほとんど読まなかつたし、興味もなかつた。小林一茶に至つては文字も読んでいない気がする。



こうしてページの多い本を選んで、ろくに内容を讀みもせず虚偽の申告をしていたのである。こうして、クラストップに上りつめたのであるが、周囲の記録を見るとクラスメイトは正直に記録しているようだった。そこで、後ろめたさもあつてなのか、一度はちやんと借りた本を讀もうと決心したのであつた。

そこで目をつけたのが、江戸川乱歩の少年探偵のシリーズであつた。理由はただ一つ。厚かつたから。動機は不純であるが、読んでみるとこれがなかなか面白かつた。怪人二十面相、明智小五郎、少年探偵団などが登場し、今という名探偵コナンのような感じだろつか。これがきつかけで少年探偵シリーズを次々と讀み漁り：とはいかなかつたが、数冊はきちんと讀み、堂々とページ数を記入した。

怪人二十面相

著者：江戸川乱歩

出版：ポプラ社

(y/えど/1)

江戸川乱歩にもちよつと興味を持つた。

面白いことに、不正を働しながらも、最終的には本を讀んでいる自分がいた。周囲を欺いているつもりが、まんまと嵌められていた訳である。もしかすると担任は、不正に気づいていたのかもしれない。それでも目くじらをたてることなく辛抱強く見守つていたのだと思つている。そんな経験があるからか、朝読の時間でも私はあまり生徒に口出しをすることはしない。讀みたい本がなく、ただ十分が過ぎるのを待つているだけの人もいる。全てはきつかけ。何がきつかけになるかはわからない。それを、ゆっくり待つてあげる心の余裕も時には必要なのだろうと思う。私は今でも本を選ぶときはミステリーを選ぶ率が高い。



旧図書委員より

委員長 高三 岩田 和也

この一年間私は図書委員長として、甲南中高の皆さんに「本を讀む面白さ」をお伝えできるよう尽力してきました。私がこの仕事を続けることができたのは、ひとえに皆さんのご声援があつたことに限ります。本当にありがとうございました。

副委員長 高三 吉岡篤司

私は高校三年間で図書委員の活動に力を入れてきました。未熟な一面があると思つていますが、ここまでやつてくれたのは皆様の暖かいご声援のおかげです。本当にありがとうございました。これからも甲南中高に「読書への関心」が拡がっていくことを期待しています。

(マネージャー)

高一 水野 植基

マネージャーとして一年間頑張ることができたのは、ひとえに多くの方々のご協力があつたおかげです。

新図書委員より

新委員長 高一 水野植基

次期委員長を務めさせていただきます水野です。先輩方に引つ張つていただいた自分が後輩を引つ張つていかなければならない立場になりました。僕の目に格好良く映つていた先輩方のようにあるよう努めていきたいと思ひます。

新副委員長

高一 中川多聞

図書委員の副委員長になりました。中川です。与えられた仕事をちゃんとこなせるように頑張ります。よろしくおねがいします。

(新マネージャー)

高一 三木康太郎

次年度からマネージャーをやらせていただくことになりました。「本の紛失を無くす」ことを目標とします。本が棚から欠けているのを見ると、本好きとしてとても悲しく、怒りを覚えます。シリーズが途中で欠けていて諦める人を増やさないよう努力していきたいと考えております。また、放送部でマネージャーをやらせていただいたので、その経験を活かせたらと思います。